

◆災害復興支援団体サポートプログラム(休眠預金等活用事業 2020年度通常枠)

採択団体一覧

外部審査委員による審査会の結果、4団体が採択となりました。採択団体の団体の名称、事業名、対象地域、実施期間、事業概要、選定理由、助成総額とその算定根拠を公募要領p.10「12. 審査結果の通知と開示」に基づき、公開いたします(五十音順)

【1】特定非営利活動法人宇和島NPOセンター

事業名	平成30年7月豪雨災害からの復興に向けた居場所づくり支援プロジェクト
対象地域	愛媛県宇和島市旧市内・吉田町・三間町
実施期間	2021.6～2023.3
事業概要	<p>西日本豪雨から3年近くが経過したが、令和6年まで、被災地域にて被災住民の再建が続く。また、被災地域へ再建された方、他地域へと移転した方もいるが、それぞれ再建された地域内での住民同士の連携は十分に生まれておらず、住民の孤立化、復興に向けた精神的、身体的な変化への対応不足が懸念される。そんな中、訪問支援にて被災住民を支えてきた地域支え合いセンター縮小の議論開始、地域内外のボランティア受け入れ縮小等、支援体制・状況にも少しずつ変化が生まれている。</p> <p>本事業では、被災住民およびその周辺の地域住民が集まり、自ら関わっていく拠点づくりを目指し、地域内の子ども食堂拠点を活用した地域食堂の運営、地域住民が集まる場(サロン、防災ワークショップ、料理教室等)の企画・運営を、宇和島市、社会福祉協議会およびその他地域内外のNPO等と連携しながら、推進していく。本事業を通して、被災住民、それを支援する地域内NPO等が主体の取り組みが生まれ、被災住民含めた地域住民のコミュニティ形成が進み、西日本豪雨被災からの復興を後押ししていく。</p>
選定理由	公的機関(社協等)および地域内外NPOとの連携を図りながら、被災住民含む地域住民同士の継続的なコミュニケーションの場づくりのモデル形成への期待
助成総額	<p>14,445,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接事業費: 13,401,000円</li> <li>・管理的経費: 390,000円</li> <li>・評価関連経費: 654,000円</li> </ul>
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

【2】特定非営利活動法人SET

事業名	Change Maker Study Program～地域社会を担ってきた住民と外部の大学生の交流による地域活性化事業～
対象地域	岩手県陸前高田市
実施期間	2021.6～2023.3
事業概要	陸前高田の中山間地域(広田、小友、矢作)は、震災後の時間経過とともに、外からの支援および地域内でのコミュニティ活動が縮小し、高齢化・少子化が進む

	<p>中、住民主体のコミュニティ形成が急がれている。また、地域内で、共に活動するような住民同士のつながりも薄まり、地域内で住民主体の活動が生まれにくい環境になっている。</p> <p>本事業では、共に取り組む仲間(首都圏の大学生・高校生)を外から呼ぶことで、地域住民主体の活動を生み出すこと、継続していくことを目指す。呼び込む施策としては、当法人が震災後から陸前高田市広田町で行なっている1週間滞在型の地域インターンシッププログラムであるChange Maker Study Programを活用する。プログラムの中では、地域住民と地域外の若者が協働して、地域のためになるアクションを生み出す。また、震災後から本プログラムを推進してきた地域では、活動の中で明確化された課題テーマにおける、継続的な地域内の活動を創出することを目指す。本プログラムを通して、地域住民主体の活動が生まれることともに、プログラムに参加する若者が、継続的に地域に関わることによる、関係人口や定住人口増加も目指す。</p>
選定理由	被災地域住民×地域外若者による、地域内課題解決の活動創出と継続への期待
助成総額	17,994,600円 ・直接事業費:14,591,600円 ・管理的経費:2,549,000円 ・評価関連経費:854,000円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

### 【3】一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

事業名	被災当事者が復興後の地域活動の担い手となっていくための活動支援事業 ～南三陸町震災復興祈念公園の管理運営への住民参画を端緒として～
対象地域	宮城県本吉郡南三陸町
実施期間	2021.6～2023.3
事業概要	<p>震災後、高台移転先の整備が完了し、被災住民は、災害公営住宅および新居での生活を営んでいる。その中で、災害前に自治活動を行っていた地区での集団移転ではなく、それぞれが別々の地区で生活を開始し、震災前の自治活動がなくなった。また、新型コロナウイルス感染症の影響、震災から10年を迎え、外部からのコミュニティ支援の減少により、高齢化の進んだ地域での住民の孤立化が進むことが危惧されている。</p> <p>本事業では、団地の枠を超えた多様な住民主体の活動が生まれ、地域住民同士の相互の助け合いを生んでいくことを目指して、地域の拠点を生かした活動を推進していく。地域の神社や「南三陸町震災復興祈念公園」を拠点として、地域内のNPO団体、行政等を巻き込み、住民が自律的に利活用していく流れをつくることともに、地域の担い手を育成して、持続的な活動を生み出す。</p>
選定理由	ハードの復興後の地域住民主体の自発的なコミュニティ形成を、官民連携で生み出していくことへの期待
助成総額	16,607,030円

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接事業費: 14,294,960円</li> <li>・管理的経費: 1,520,750円</li> <li>・評価関連経費: 791,320円</li> </ul>
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定
備考	一般社団法人復興みなさん会、一般社団法人東北まちラボとのコンソーシアム

#### 【4】一般社団法人ドットリバー

事業名	つなぐ、つながる復興へのおもい
対象地域	熊本県人吉球磨地域
実施期間	2021.6～2023.3
事業概要	<p>2020年7月に発生した豪雨災害による球磨川の氾濫により多くの住宅、商工事業者が被災した。国宝青井阿蘇神社をはじめとする観光拠点や、飲食店、宿泊施設、人吉温泉、鉄道、球磨川くんだり、ラフティングなど、観光資源の多くが被害を受けた。そんな中で新型コロナウイルス感染症の影響も重なり、地域へ足を運ぶ人が減少し、再建に向けた事業者は今後の事業再開に不安を抱えている。</p> <p>本事業では、水害前から、様々な企業や大学と交流・マッチングを促進し、事業承継問題をはじめとする事業者が抱える課題の解決、新事業展開へのサポート、テレワーク等の新しい働き方の提供を行ってきた、人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」を活用し、「ワーケーション」という新たな軸で、被災飲食店や宿泊施設関係者との連携による、復興に向けた事業形成を行う。</p>
選定理由	地域のリソースを活用し、地域の被災事業者を巻き込みながら再建・復興の後押しする事業スキーム構築への期待
助成総額	13,876,000円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接事業費: 12,474,000円</li> <li>・管理的経費: 752,000円</li> <li>・評価関連経費: 650,000円</li> </ul>
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

以上